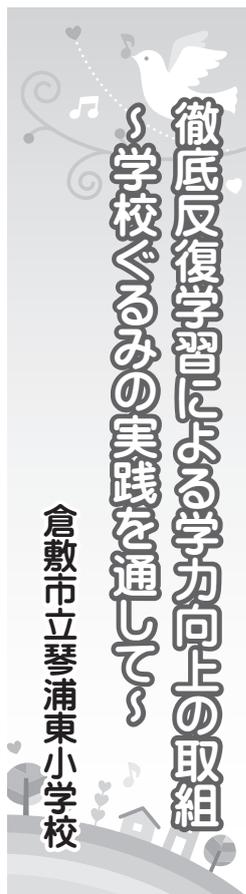


広げよう！優良実践の輪！

～ 令和元年度 優良実践校の取組 ～

取組 9



1 はじめに

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常のひびきあり…」。

琴浦東小学校の朝は、児童の元気な音読からスタートします。本校では、基礎学力の定着が十分でない児童が多く、学習状況に課題がありました。そこで、平成29年度の3学期から、「陰山メソッド」を取り入れた徹底反復学習の取組を始め、全教職員でベクトルをそろえ、学校ぐるみで学力向上の取組を行いました。

2 取組の概要

火曜日から金曜日までの朝の15分間を徹底反復学習の時間に当てています。「スピード・テンポ・タイミング」を大切にしながら、児童の集中力を高めています。



音読の様子

【内容】

①音読⇨古典の名文等の音読・

暗唱

②計算⇨百ます計算や百割計算

など

③漢字⇨漢字プリントなど

なお、本校では漢字指導は、5月の連休前後までに前倒しで行っています。



漢字の徹底反復学習

【ねらい】

①脳の活性化と集中力の育成
②盤石な基礎学力の育成

特に、脳の高機能化を図り、児童の集中力を高めることに重点を置いて取り組んでいます。

【実施体制の構築】

①組織体制の整備

学力向上コーディネーターを指名したり学力向上委員会を設けたりして、推進体制を整備しました。教材やテスト等もすべて学校全体で統一しました。

②管理職の見守り・支援

毎朝、管理職が教室を見回るとともに、漢字の丸付けの際に

はすべての教職員が教室に入り、支援しました。

③結果を数値で共有

徹底反復学習で行う漢字の習得率や計算の通過率等、全教職員でデータを共有し、改善を図るようにしました。

④保護者や地域への啓発

学校、だよりや地域の集まりなどを通して、取組を紹介したり、保護者等を対象として陰山英男先生の講演会を実施したりして、啓発を図りました。

3 おわりに

「この学習を進めれば児童は必ず伸びる。みんなでそのことを信じて取り組もう」と、全教職員で共通理解をして取り組みました。その結果、児童の集中力と基礎学力を確実に高めることができました。

これからも全教職員でベクトルをそろえ、学校ぐるみの実践を推進し、学力が伸びる学校づくりに努めていきたいと思いません。

(前年度校長 荻野雄二)

落ち着いた学習環境を土台とした 学習習慣形成の取組

奈義町立奈義中学校

1 はじめに

奈義町の北にそびえる那岐山は、町のシンボルとして広く町民に愛されており、四季折々に美しい自然を見せてくれます。その豊かな自然に抱かれた奈義中学校の生徒は、穏やかで落ち着いた学習環境の中でまじめに学習に取り組んでいます。

しかし、以前から家庭学習習慣の充実が課題でした。そこで、落ち着いた学習環境を土台として、生徒が主体的に参加する授業づくりと学習意欲を高める取組により、家庭学習習慣の充実を図ることにしました。

2 取組の概要

本町では、幼小中一貫教育の研究テーマを「主体的で、学び合っている保育・授業づくり」として取り組む「主体的な姿」、「学び合う姿」を探りながら保育・授業研究に取り組んでいます。

町の研究テーマを受けて、本校では仲間と積極的にかかわ



道徳科研究授業：「考え議論する道徳」の在り方

り合う授業づくりと生徒が充実感・達成感を得られる取組の工夫を研究の柱としています。

① 落ち着いた学習環境づくり
主体的に参加する授業づくり
生徒の授業への参加意識を高めるために、各教科とも「自分で考え、表現する時間の確保」に努めました。個での思考を大切に、仲間との交流を通して、さらに思考を深めることを目指して授業づくりを工夫しました。

② 考え議論する道徳



学習についての座談会：「自主学習の進め方」等

② 学習意欲を高める取組
① U・P・家庭学習で
じぶんを救え！
家庭学習時間を意識させる取組です。「部活動のない水曜日の家庭学習時間を1時間増やそう」と呼びかけました。クラス対抗で家庭学習時間を競い、学習時間が一番多いクラスと前回からの増加率の高いクラスを表彰しました。

② 学習についての座談会
1学期中間テスト前に、初めての定期テストに臨む1年生の不安や悩みの解消のために、生

徒会主催による縦割り座談会を行いました。1年生の不安解消だけでなく、他の生徒の勉強方法やメディア利用状況を聞くことは、上級生の刺激にもなりました。

③ 自主学習ノート
学習内容が充実するように、模範的なノートを廊下に掲示しました。さらに、小学校と連携し、互いの優秀なノートを交換して掲示しました。また、自主学習に使えるプリントを廊下において自由に活用できるようにしています。

3 おわりに

主体的な授業参加を目指した取組と学習意欲を高める取組が相互に作用し合ったように感じます。各教科の特性を活かした課題の与え方、学び合いの工夫により、生徒の学習活動が充実してきました。また、家庭学習時間も着実に増加し、「平日1時間以上の家庭学習」に取り組む生徒の割合は、全国・県平均を超えるようになりました。

今年度の生徒会スローガンは「挑む」です。生徒の主体的な「挑み」を支えることで自尊感情・自己有用感の醸成を図りながら、学ぶ意欲を一層高める取組を推進していきたいと考えています。

(校長 中村雅徳)